

第 55 期 中間報告書

平成 24 年 3 月 1 日
～
平成 24 年 8 月 31 日



株式会社

ダイセキ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは平成24年8月31日をもちまして第2四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年8月31日まで）を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

経営の基本方針

当社グループは、「環境創造企業」をスローガンに掲げ、リサイクルを中心とした産業廃棄物中間処理を事業の中心として業容の拡大を図るとともに、「環境」を通して社会に貢献してまいりました。近年、世界的に環境に対する関心が高まり、わが国においても廃棄物問題に関する社会的注目が高まり、それとともに従来は陰に隠れがちであった産業廃棄物処理業界も社会的認知を受け、産業界をはじめとして各方面から大きな期待が寄せられる業界となってまいりました。当社は、平成7年に業界初の公開企業となり、産業廃棄物処理業界のリーダー的存在として、当社のみならず業界全体の社会的信頼性向上に努力してまいりました。今後もさらに各方面からの信頼を裏切ることなく、「環境」に貢献する企業として、株主の皆様、取引先の皆様をはじめとして、社会全体からの信頼と期待に応えられる経営を目指してまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、株主各位への安定的な利益還元を基本としたうえで、業績に対応した配当の実施並びに株主還元を最重要課題として考えております。従って、業績の推移、業界環境、配当性向を勘案し、併せて経営基盤並びに企業体質の強化と中長期的な事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案して、配当を決定する方針を採っております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

配当性向（個別）に関しては20%以上を目処とし、業績の向上に伴う株主還元を増配または株式分割により実行してまいります。

中長期的な経営戦略

当社グループは、産業廃棄物のリサイクルを中心とした産業廃棄物中間処理業を主体としております。わが国の産業廃棄物処理市場は、中小・零細企業の乱立する業界から、各種環境規制の強化と環境に関する社会的関心の高まりにより、適正でなおかつリサイクル処理を主体とした企業に処理委託が集約化されていく動きになりつつあります。

当社グループは、多様化・複雑化する産業廃棄物の適正処理・リサイクル化のニーズ

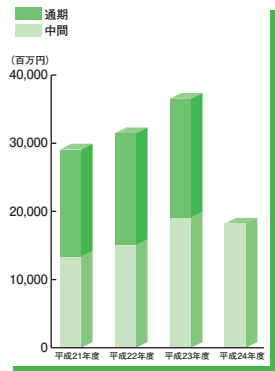
に対処するため、技術力の向上、新設備の導入による処理・リサイクル可能品目の拡大、並びに積極的な設備投資と営業展開により、特に関東地区、関西地区の2つの大規模な市場を中心とした地域でのシェア上昇を目指し、業容拡大を図ってまいります。また、産業廃棄物中間処理のみにとどまらず、顧客の環境リスクに対するニーズに応えるため、特に子会社である株式会社ダイセキ環境ソリューションとの連携を密にし、土壌汚染調査・処理、環境分析、ゼロ・エミッション支援、処理装置の販売等の、企業の環境に対するトータル・プランナーとしての能力を高めることにより、グループとしての事業分野の拡大を図ってまいります。さらに、平成19年に株式会社ダイセキMCRを買収したことにより、鉛のリサイクル業という従来当社グループが持たなかった金属リサイクル業への進出を果たすことができました。また、平成22年9月1日には、大型タンク洗浄大手であるシステム機工株式会社を買収いたしました。今後も「環境」「リサイクル」をキーワードにM&A戦略も積極的に展開してまいります。こうした施策により、当社グループは「環境創造企業グループ」としてさらなる飛躍を目指してまいります。

以上の施策により、平成27年2月期には、売上高480億円、営業利益85.5億円と、売上高・営業利益ともに過去最高値を更新する見込みです。

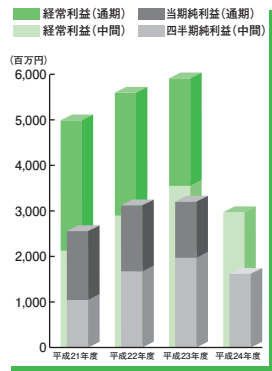
業績の推移

■ 連結

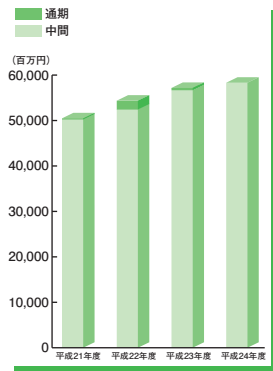
■ 売上高



■ 経常利益・四半期 (当期) 純利益



■ 総資産



株主の皆様へ

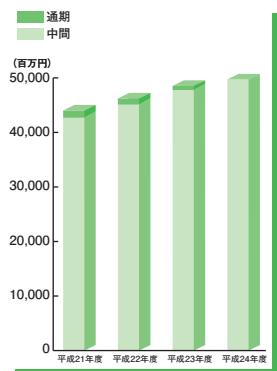
当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原発事故の影響から回復しつつあるものの、欧州危機に端を発した世界経済の落ち込み、長期化する歴史的な円高、株式市場の低迷、電力供給不安などの景気のリスクを抱えたまま不安定な状況で推移いたしました。

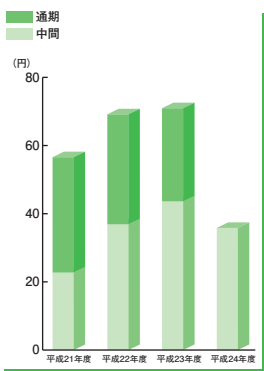
当社グループの中核事業である産業廃棄物中間処理・リサイクル事業におきましては、業種並びに地域による差はありますが、大震災からの国内製造業の緩やかな回復、さらには関東地区を中心とした当社シェアの拡大により顧客数は順調に増加いたしました。しかしながら、前年同期に発生した震災直後の復旧案件の落ち込みや大型の土壌汚染処理案件の落ち込みをカバーするまではならず、減収減益となりました。また、当社グループ企業である土壌汚染の調査・分析・処理事業を行う株式会社ダイセキ環境ソリューションにおきましては、国内景気に歩調を合わせるように一進一退の続く不動産市場の中ではありましたが、土壌汚染処理ノウハウの積み上げや、周辺事業への積極展開等により、業績は計画通り推移してまいりました。

反面、鉛リサイクル事業を行う株式会社ダイセキMCRにおきましては、LME鉛相場は引続き底値圏にあり、かつ歴史的円高の影響を受け、国内の鉛販売価格は低迷を続け赤字計上となりました。しかしながら9月に入り鉛価格は急騰し、ほぼ期首に想定した価格まで回復し、通期において黒字計上が視野に入ってきております。また大型タンク

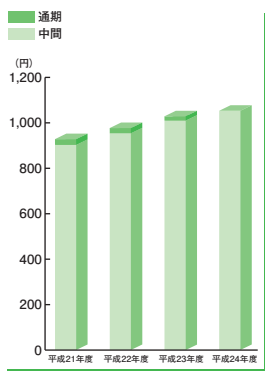
純資産



1株当たり四半期(当期)純利益



1株当たり純資産額



洗浄の大手であるシステム機工株式会社におきましては、例年より受注が遅れており、上半期赤字計上となっております。しかしながら下半期の受注は順調に伸びており、またグループ間でのシナジー効果も引続き拡大傾向にあり、通期では黒字計上となる見通しです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,217百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益2,885百万円（同16.7%減）、経常利益2,965百万円（同16.3%減）、四半期純利益1,608百万円（同18.1%減）となりました。

通期の見通し

第3四半期以降の見通しにつきましては、不安定な経済状況は続くものの、新たな顧客層へのアプローチ、新規設備の稼働等によりシェアを拡大し、また下半期にずれ込んでいる受注を確実にこなすことにより、さらなる事業展開を図ってまいりたい所存です。

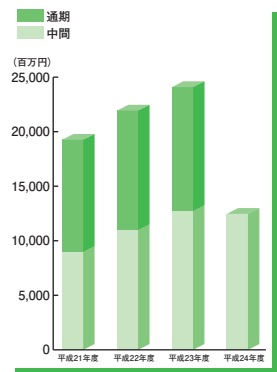
上記の状況を鑑み、通期の業績につきましては、期首計画通り、売上高39,350百万円（前期比7.7%増）、営業利益6,510百万円（同13.2%増）、経常利益6,590百万円（同11.6%増）、当期純利益3,610百万円（同13.0%増）と増収増益を予想しております。

平成24年11月

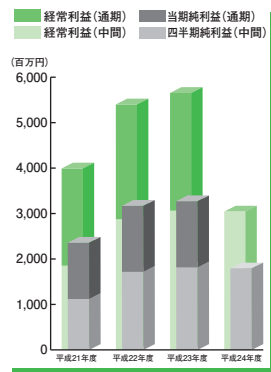
代表取締役社長 伊藤博之

個別

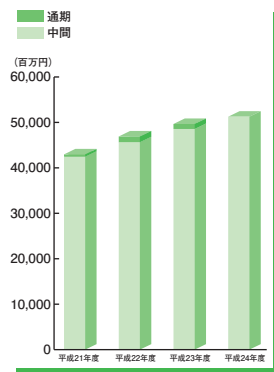
売上高



経常利益・四半期(当期)純利益



総資産



四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年8月31日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年8月31日現在)	科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年8月31日現在)	前第2四半期 連結会計期間末 (平成23年8月31日現在)
流動資産	28,090	27,864	流動負債	7,382	7,630
現金及び預金	19,055	18,623	支払手形及び買掛金	2,887	3,148
受取手形及び売掛金	6,565	6,938	短期借入金	820	845
たな卸資産	1,585	1,750	未払法人税等	1,397	1,579
繰延税金資産	359	272	賞与引当金	292	292
その他	542	299	受注損失引当金	22	-
貸倒引当金	△ 17	△ 19	その他	1,962	1,763
固定資産	30,266	28,802	固定負債	1,276	1,316
有形固定資産	18,713	16,826	長期借入金	97	268
建物及び構築物	4,060	4,221	退職給付引当金	806	746
機械装置及び運搬具	1,669	1,695	役員退職慰労引当金	275	255
土地	11,656	10,263	その他	96	47
建設仮勘定	1,129	450	負債合計	8,658	8,946
その他	197	195	純資産の部		
無形固定資産	2,106	2,385	株主資本	47,266	45,331
のれん	1,835	2,106	資本金	6,382	6,382
その他	271	279	資本剰余金	7,051	7,051
投資その他の資産	9,446	9,590	利益剰余金	33,960	32,024
投資有価証券	6,254	6,277	自己株式	△ 128	△ 127
繰延税金資産	666	717	その他の包括利益累計額	135	140
その他	2,553	2,597	その他有価証券評価差額金	135	140
貸倒引当金	△ 28	△ 2	少数株主持分	2,296	2,248
資産合計	58,357	56,667	純資産合計	49,698	47,720
			負債純資産合計	58,357	56,667

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

前第2四半期連結会計期間末

17,492百万円

当第2四半期連結会計期間末

18,606百万円

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
売 上 高	18,217	19,168
売 上 原 価	12,889	13,346
売 上 総 利 益	5,328	5,822
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,442	2,355
営 業 利 益	2,885	3,466
営 業 外 収 益	89	91
営 業 外 費 用	9	14
経 常 利 益	2,965	3,543
特 別 損 益	△ 18	△ 1
税金等調整前四半期純利益	2,947	3,542
法人税、住民税及び事業税	1,364	1,544
法人税等調整額	△ 88	△ 43
少数株主損益調整前四半期純利益	1,671	2,041
少 数 株 主 利 益	62	75
四 半 期 純 利 益	1,608	1,965

(注) 1株当たり四半期純利益

前第2四半期連結累計期間
当第2四半期連結累計期間

43円63銭
35円70銭

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,635	2,689
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,430	△ 1,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 583	△ 858
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△ 378	707
現金及び現金同等物の期首残高	19,714	17,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,335	18,605

四半期財務諸表

■四半期貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	当第2四半期 会計期間末 (平成24年8月31日現在)	前第2四半期 会計期間末 (平成23年8月31日現在)	科 目	当第2四半期 会計期間末 (平成24年8月31日現在)	前第2四半期 会計期間末 (平成23年8月31日現在)
流動資産	22,844	22,336	流動負債	5,196	4,935
現金及び預金	17,544	17,130	支払手形	702	753
受取手形	884	940	買掛金	1,259	1,224
売掛金	3,524	3,672	未払法人税等	1,297	1,308
たな卸資産	339	325	未払消費税等	106	106
繰延税金資産	204	211	賞与引当金	233	235
その他	350	67	設備支払手形	586	277
貸倒引当金	△ 2	△ 11	その他	1,010	1,028
固定資産	28,329	26,160	固定負債	928	858
有形固定資産	11,239	10,463	退職給付引当金	709	652
建物	1,402	1,467	役員退職慰労引当金	215	200
構築物	1,262	1,315	その他	3	4
機械及び装置	897	992	負債合計	6,124	5,793
土地	7,192	6,306	純 資 産 の 部		
その他	486	382	株主資本	44,925	42,579
無形固定資産	264	268	資本金	6,382	6,382
投資その他の資産	16,825	15,428	資本剰余金	7,051	7,051
投資有価証券	6,004	6,010	利益剰余金	31,619	29,273
関係会社株式	5,730	5,730	自己株式	△ 128	△ 127
長期性預金	1,500	1,500	評価・換算差額等	124	123
繰延税金資産	482	495	その他有価証券評価差額金	124	123
その他	3,109	1,690	純資産合計	45,050	42,703
貸倒引当金	△ 1	△ 0	負債純資産合計	51,174	48,497
資産合計	51,174	48,497			

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

前第2四半期会計期間末

14,511百万円

当第2四半期会計期間末

15,308百万円

■ 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (平成24年3月1日から 平成24年8月31日まで)	前第2四半期累計期間 (平成23年3月1日から 平成23年8月31日まで)
売 上 高	12,402	12,683
売 上 原 価	7,927	8,196
売 上 総 利 益	4,474	4,486
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,534	1,526
営 業 利 益	2,940	2,959
営 業 外 収 益	97	94
営 業 外 費 用	0	0
経 常 利 益	3,037	3,054
特 別 損 益	△ 7	1
税 引 前 四 半 期 純 利 益	3,030	3,055
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,269	1,278
法 人 税 等 調 整 額	△ 27	△ 34
四 半 期 純 利 益	1,789	1,812

(注) 1株当たり四半期純利益

前第2四半期累計期間
当第2四半期累計期間

40円24銭
39円72銭

会社の概況 (平成24年8月31日現在)

- 商号 株式会社ダイセキ
- 設立 昭和33年10月1日
- 資本金 6,382,605,956円
- 本店所在地 名古屋市港区船見町1番地86
- 従業員数 521名
- 事業所

本社・名古屋事業所 名古屋市港区船見町1番地86
 北陸事業所 石川県白山市相川新町631番地1
 関西事業所 兵庫県明石市二見町南二見21番地6
 九州事業所 北九州市若松区南二島4丁目13番3号
 関東事業所 栃木県佐野市西浦町570番1
 千葉事業所 千葉県袖ヶ浦市南袖23番8

顧客満足 (CS) を推進するために全国6ヶ所の事業所・ネットワークで迅速に対応します。



■役員

代表取締役社長	伊藤 博之	藤 秀之	取 締 役	江 越	且 明
代表取締役副社長	柱 山	本 哲	取 締 役	宮 地	弘 男
専務取締役	山 本	島 哲	取 締 役	原 田	利 泰
常務取締役	福 島	満 一	取 締 役	伊 藤	孝 典
常務取締役	平 林	一 美	常 勤 監 査 役	久 保	
取 締 役	天 野	浩 二	監 査 役	坂 部	
取 締 役	稲 垣	淳 一	監 査 役	佐 橋	

(注) 坂部孝夫、佐橋典一の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

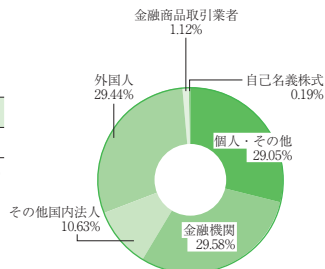
株式の状況 (平成24年8月31日現在)

■発行可能株式総数	79,200,000株
■発行済株式の総数	45,124,954株
■株主数	10,626名
■大株主	

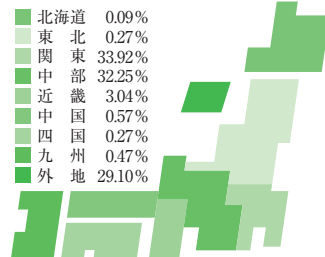
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,255千株	11.64%
TAIYO FUND, L. P.	4,195	9.29
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,499	5.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,058	4.56
ジェーピーモルガンチェースバンク	1,978	4.38
山本哲也	1,346	2.98
伊藤博之	1,345	2.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,323	2.93
有限会社こども未来研究所	1,299	2.87
伊藤喜代子	1,193	2.64

(注) 当社は、株式会社三菱東京UFJ銀行の持株会社である株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループの株式51,000株（出資比率0.0%）を保有しております。
 なお、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループへの出資比率は、議決権のない優先株式を除いて算出しております。

所有者別持株構成

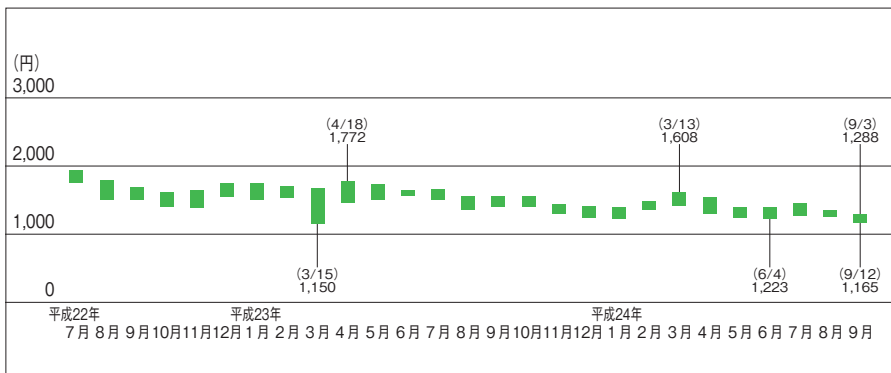


地域別持株構成



(注) 保管振替機構名義株式、自己名義株式は含んでおりません。

株価チャート



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金 受領株主確定日	2月末日
中間配当金 受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所、名古屋証券取引所
単 元 株 式 数	100株
監 査 法 人	有限責任監査法人トーマツ
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.daiseki.co.jp/IR/accounting.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒455-8505 名古屋市港区船見町1番地86
TEL (052) 611-6322(代) FAX (052) 612-4382
ホームページアドレス <http://www.daiseki.co.jp>

